

ばあばのえがおがだいすき

御津南部小・1 おがさわら さくら

えをかけます。はなしたりいっしょにあそんだりして、えがおになりたいたおもいました。

わたしは、ばあばが大すきです。ばあばのえがおがかいてあったので、この本をえらびました。

この本は、フアーンと、ばあばという人が出てきます。ばあばはげん気がなく、フアーンがよろこびをさがして、えがおになるおはなしです。

わたしが、この本をよんですごいとおもったところは、大すきなばあばのために、どうしたらげん気になつてもらえるか、フアーンがさがしてみたところです。さがして見つからなくても、いっしょうけんめいさがしてあきらめないフアーンはすごいとおもいました。わたしも、じぶんがばあばをえがおにできることをさがしてみました。

まず、ばあばがよくのんでいるお水をコップに入れてもつていきます。つぎに、せんたくものをたたみます。それでもえがおにならなければ、さいごのとおきまほうをかけます。それは、ばあばをぎゅっときしめ、耳もとで大すきをつたえることです。これできつとばあばはえがおになつてくれるとおもいます。ばあばがえがおになつたら、おそとでいっしょにあそびたいです。

この本をよんで、ばあばにえがおがないと、わたしはかなしい気もちになることがわかりました。ばあばにもこのおはなしをしました。すると、

「さくらのえがおがばあばをえがおにしてくれているよ。」
といってくれました。とつてもうれしくてところがあたたかい気持ちになりました。

わたしは、これから学校で、げん気のないともだちがいたら、こ